

◇◇寄居町三月議会報告◇◇

寄居町三月議会は、2月28日から3月20日まで開催されました。三月議会は予算審議が主要議案でした。

■令和五年度予算概要と特徴

一般会計予算総額は、128億8233万2千円です。重点施策は①少子化対策の充実②地域内経済循環の促進③教育施設の充実・強化④健康長寿事業の積極展開をあげています。

◆重点施策の第一に、少子化対策をあげていますが、近隣で実現している保育無料化、学校給食費の無料化を現状から進展させる予算となっています。待ったなしの最重点課題に積極的に予算処置が望まれます。

◆鉢形中学校区での小中一貫校化を進める予算が組まれています。学校統廃合は費用面だけでなく、子どもたちが伸びやかに育つ環境、という側面からも考えるべきです。小中一貫校は小さな子どもたちにストレスを与えます。いじめなどの発生にも懸念の声があります。保護者、教師の意見をよく聞くべきです。

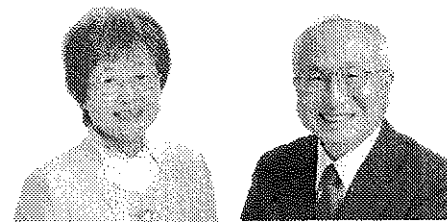
■住宅リフォーム助成 一度限りから5年に1回に

◇一方、共産党議員団が要求してきた「住宅リフォーム助成」制度の予算増額は、何度も利用できる回数増の形で進展しました。

重点施策区分	項目	予算(万円)	適用等
少子化対策	結婚新生活支援事業補助金	480	住宅取得等新生活経費に最大60万
	出産・子育て応援事業	1,890	総額10万円補助と相談支援
	子育て支援交付金支給事業	620	地域通貨 Yori-Ca ポイントで3万円
	定住相談窓口新設、空き家活用		業者との提携
地域内経済循環の促進	地域通貨 Yori-Ca 活用拡大	15,079	30%プレミアムキャンペーン等
	住宅改修資金補助利用回数拡大	800	200万円増。1回限りから5年に1回に
	新規就農者育成支援事業	300	サポート体制と3年までの営農資金
	まちなか居住促進補助事業	1,020	寄居・男衾駅周辺に子育て世代が住宅を新築する場合の補助金
教育施設充実・強化	男衾中学長寿命化改修工事	80,262	
	城南中学校区小中学校集約化	300	小中一貫校化の推進
	学力向上対策事業	3,083	英語検定無償化、算数検定無償化等
健康長寿事業の積極的展開	予防接種事業	8,800	子宮頸がん、9価ワクチン、带状疱疹
	特定健康診査・疾病予防費	8,015	
	健康長寿促進事業	351	ラジオ体操教室、ノルディックウォーキング教室、栄養教室など

寄居町議会議員選挙結果 大沢ひろし・浅見れい子当選

4月18日告示、23日投開票で執行された町議会議員選挙で日本共産党は大沢ひろし(現)浅見れい子(新)の2名が当選しました。



浅見玲子町議 大澤博町議

日本共産党議員団として掲げた公約の実現に全力で取り組みます。



■日本共産党町議団、予算、請願等への賛否

○一般会計予算案【反対】

デマンドタクシー・利便性向上策が盛り込まれていない等

○水道事業会計予算【反対】

基本水量に5, 10, 15m³等、少量枠が設定されていない。

○国民健康保険特別会計予算【反対】

18歳までの子ども均等割りは無償にすべき。

○後期高齢者医療特別会計予算【反対】

窓口負担なしにすべき。世界の例のない悪政。

○消費税インボイス制度の実施延期請願【賛成】

インボイス制度で仕事を辞めざるを得ない自営業者も出てくる。



○田母神、大澤両議員の一般質問要旨をお知らせします

◆◆田母神 節子 議員 一般質問要旨◆◆

一、少子化対策の充実・強化を

【問】安心して産み、育てるための支援を充実するために、次のことができませんか。

①子育て中(18歳まで)の家庭への家賃50%補助②18歳までの国民健康保険税の均等割り無料化③2歳児以下の保育料の無償化④波久礼駅からの児童・生徒の通学費の補助

【回答】

①持ち家の世帯との公平性が確保できない等の課題もあり、現状では実施を考えていません。

②低所得者に対する負担軽減措置及び、未就学児にかかる均等割り額の半額が軽減されており、無料化は考えていません。

◆保育料無料化、近隣の動向を注視するとの回答◆

深谷市は既に無料に！

③保育料は、生活保護受給世帯、住民税非課税世帯、同時入所第3子以降の児童を無償化し、町と県の基準で同一生計の第三子以降の無償化を実施しています。

二歳児以下無償化の予定はありませんが、国や県、近隣市町村の動向を注視します。

◆「電車が指定通学手段」なら配慮が必要では？

④距離が6キロメートル以上の波久礼駅・桜沢駅間の中学生には、定期半額を補助しております。波久礼駅と寄居駅間の電車通学児童に対しては、他地区に同程度の徒歩通学の児童もおり、補助は考えていません。

二、健康長寿事業は積極的展開を

重点施策「健康長寿の積極的展開」では、日ごろの健康的な運動や生活習慣、生きがいづくり、介護予防等があげられています。



【問】

①病気の早期発見、早期治療のために、75歳以上の医療費窓口負担をなくすべきです。
②ノルディックウォーキングは高齢者には負担が大きく、ノルディックポールウォーキング教室を行うのはどうでしょうか。
③高齢者の方が自分で料理を作り、食べる習慣がつくよう、料理の実習講習はできませんか。
④免許返納者が安心して医者にかかれるように、町外の医療機関にもデマンドタクシーを利用できるようにすべきと考えます。以上、町の考えを伺います。

【回答】

①団塊の世代が75才以上となり始め医療費の増大が見込まれています。安心できる社会保障制度を構築するため、高齢者の窓口負担を願います。
②ノルディックウォーキング教室は平成30年度から継続しており、好評をいただいております。2つの運動方法にはそれぞれの利点があり、ポールウォーキングの導入についても研究します。
③町では健康づくりの取り組みで食事の質を高める教室を実施しております。この中で料理の作り方まで指導する企画を検討してまいります。

◆デマンドタクシー運行区域拡大を検討へ◆

田母神議員の粘り強さが町を動かす

④誰もが利用し易い公共交通網を維持するには、デマンドタクシーの利便性を向上させ、利用促進に繋げることが重要です。運航区域の町外への拡大は、利便性向上策の一つとして今後検討します。

◇◇大澤 博 議員 一般質問要旨◇◇

一、新規就農支援を積極的に

【問】次の制度はどんなものがありますか。

①「経営・技術」サポート②「営農資金」、サポート③「農地」サポート

【回答】

①新規就農者が機械・施設等を導入する経費に対し補助を受けられる制度や、作りたい作物を栽培している農家から栽培技術指導等を受けられる支援があります。
②就農前の研修中に最長2年間交付の就農準備資金、新規就農後に最長3年間交付の営農家開始資金などです。

③農業委員会に貸与希望農地情報を蓄え、就農者が借地を希望する場合、情報を提供し、仲介を行います。
【問】町には「明日の農業担い手育成塾」があり、研修支援をしていますか、どのように運営されていますか。研修を終了した就農者は何人ですか。

【回答】

習熟度で入門研修と実践研修を選択して研修をしています。サポート農家を選定し、研修事業計画書に基づき指導を実施しています。町担当者及び農業技術普及指導員等の巡回で、技術、指導状況の確認を行い、研修進捗状況報告書の提出を義務付けています。卒業した新規就農者は12人です。
【問】新規就農者育成総合支援事業と「明日の農業担い手育成塾」は統合するのですか。

【回答】

「明日の農業担い手育成塾」は町の担い手育成協議会の事業であり、「新規就農者育成総合支援事業」との統合は考えていません。

業であり、「新規就農者育成総合支援事業」との統合は考えていません。
○その他に耕作放棄地をリスト化した貸出リスト、及び支援体制のホームページ掲載を提案しましたが、町は作る考えがないと否定しました。

二、空き家対策、どう進めますか

【問】民間事業者と相互協力で空き家を活用した移住・定住環境の整備とあるが、どう進めますか。空き家所有者が遠隔での相談を受ける窓口開設とはどんなものですか。

【回答】

空き家活用株式会社、空き家情報を基にデータベースを構築し、民間事業者等へ公表します。空き家活用株式会社は専用相談窓口を設置し、問題や課題の解決、売買や賃貸を希望する方に民間事業者を紹介します。遠隔相談窓口とは、空き家活用株式会社の専用ウェブサイト開設する相談アドバイザーの窓口です。

◆町の空き家事業は民間への丸投げでは？◆

【問】深谷市では、自治会と「空き家等の見守りに関す協定」を結び、見守り・調査依頼・相談調査・報告等を行っています。当町でも締結する考えがありませんか。

【回答】

自治会との協定締結については、今後必要に応じて検討したいと考えます。

三、パートナーシップ及びファミリーシップ宣誓制度の制定推進を

【問】同性カップルなどを「結婚に相当する関係」と認めるパートナーシップ宣誓制度、同居する子どもも家族として認めるファミリーシップ宣誓制度について、講演会を開催し宣誓制度の実施に向けて準備を進めるとあるが、令和5年度中に実現できないか。

【回答】

性的志向及び性自認の多様性を尊重することは重要と認識しております。令和5年度も性的マイノリティの方が安心して暮らせる環境づくりや、町民の正しい理解のため講演会やパネル展示等の啓発を進め、宣誓制度の実施に向け準備します。

田母神節子前町議 御礼のご挨拶



7期、28年間(52歳～80歳)多くのお力添えにより、無事勤めることができました。本当にありがとうございました。印象に残っているのは、議員になって当初から取り組んだ『子どもの医療費18歳までの無料化』を近隣の市町より早く実現できたこと。私の32年の保育の仕事で身に着けた信念で、20数年かかりましたが、ねばり強く諦めることなくやり通せたことでした。共産党の議員として育てて頂き、御礼申し上げます。

岸田政権の大軍拡、年5兆円 不安を煽って推進か

◇見当外れのJアラートで不安を煽る？
先日のJアラート、全てのテレビ番組を中断してミサイル落下の危険を報道しましたが、遠く離れた排他的経済水域外に落下しました。中には北海道に落下したとの報道も。落下地も時間も特定できない不正確な警報で国民の不安を煽っているとしたかと思えます。全ての放送網が政府の言いなりに報道する。まるで戦前の大政翼賛会のようにです。

